

## 2 長期経営方針及び中期経営計画の概要

### (1) これまでの経営効率化等への取組み

企業局では、全国の地方公営企業の中でいち早く経営体制の強化や運転管理の近代化に取り組み、昭和63年には県北・県央の発電施設を対象とする集中監視制御システムを導入、平成12年には同システムの対象を全発電施設に拡大し、無人化により組織のスリム化を図り、また、経営改革プログラムや第1次中期経営計画（平成15年度から18年度）、第2次中期経営計画（平成19年から21年度）により発電コストの削減や工業用水道の事業統合を行うなど、常に効率的な経営に努めてきました。

さらに、平成18年度には、地方独立行政法人への移行など、経営形態のあり方についても検討を行い、現行の地方公営企業方式として事業を継続することを決定するとともに、長期経営方針（平成22年度から令和元年度）を策定し、これまでの第3次（平成22年度から24年度）、第4次（平成25年度から27年度）、及び第5次（平成28年度から令和元年度）中期経営計画に基づき、経営基盤の強化や経営の効率化により実効性を高めながら取り組みました。

### (2) 長期経営方針（2020～2029）及び第1期中期経営計画の策定趣旨

企業局は、北上川を始めとする豊かな水資源などの地域特性を生かし、環境負荷の少ないクリーンな電力を供給する電気事業と良質な工業用水を供給する工業用水道事業を運営し、地域社会の発展と県民福祉の向上に寄与してきました。

一方で、事業の開始から長期間が経過したことに伴う施設の高経年化への対策や、国の電力システム改革などの事業を取り巻く経営環境の変化に的確に対応していくため、これまでに岩手県企業局長期経営方針（平成22年度～令和元年度）と、5次にわたる中期経営計画を策定し、中長期的な観点に立った事業の安定経営に取り組んできたところです。

これまでの長期経営方針の取組期間が令和元年度で終了となることから、今後においても経営環境の変化に的確に対応し、経営基盤の強化や経営の効率化を図りながら電力と工業用水の安定供給を行っていくため、新たな長期経営方針を策定したものです。

### (3) 長期経営方針（2020～2029）

長期的な企業局の将来を展望し、「経営方針」や、長期的な課題の解決に向けた取組方向を示すものであり、いわて県民計画（2019～2028）における企業局の役割を踏まえ策定したものです。

また、本方針は、「公営企業の経営に当たっての留意事項について」（平成26年8月29日付け総務省自治財政局公営企業課長等通知）における「経営戦略」として位置付けられるものです。

なお、本方針の実効性を確保するための行動計画として、取組期間を3段階に分けたアクションプランである「中期経営計画」を別途策定し、当該計画期間における具体的な経営目標を設定して、優先的・重点的な取組を進めていくこととしています。

## ア 基本理念

岩手県企業局は、将来にわたり地球環境にやさしいクリーンな電力と良質な工業用水の安定供給を行うことにより、再生可能エネルギーの推進・拡大による低炭素社会の形成や地域産業の振興、雇用の確保に貢献し、地域社会の発展と県民福祉の向上に寄与していきます。

## イ 経営方針

新たなステージに挑戦し、地域の発展に貢献し続けます

### ○ 電気事業

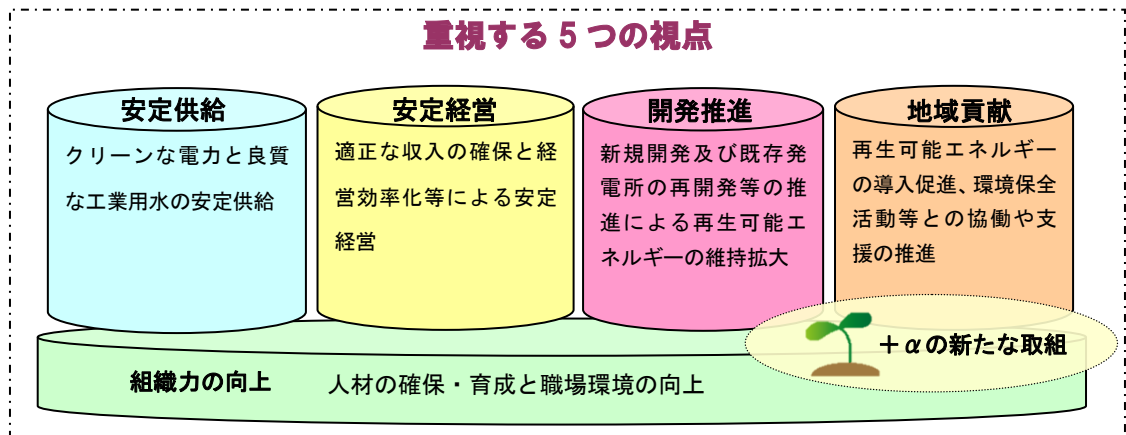
環境変化に柔軟に対応できる経営基盤を築き、水力などの再生可能エネルギーによる電力の安定供給により低炭素社会の形成や地域社会の発展に貢献していきます

### ○ 工業用水道事業

施設の強靱化や経営の効率化など経営基盤の強化を図り、新たな水需要への対応や良質な工業用水の安定供給により地域の産業を支えていきます

## ウ 重視する5つの視点

経営を行っていくうえで、重視する5つの視点として「安定供給」、「安定経営」、「開発推進」、「地域貢献」及び「組織力の向上」を掲げ、それぞれの取組を進めるとともに、「+αの新たな取組」を掲げ、5つの視点に関連する新たな取組を進めていきます。



#### (4) 第1期中期経営計画の概要と取組状況

##### ア 第1期中期経営計画の概要

この計画は、「岩手県企業局長期経営方針（2020～2029）」に掲げる「基本理念」及び「経営方針」を実現していくための令和2年度から令和5年度までのアクションプランとして策定したものです。

本計画の推進に当たっては、取組期間における具体的な経営目標を設定し、目標達成に向けて優先的・重点的な取組を進めていくこととしています。

##### (ア) 第1期中期経営計画の具体の取組

###### 【電気事業】

- (1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり
  - ・ 水車発電機の大規模修繕工事など防災や減災の観点を踏まえた計画的な修繕・改良
- (2) 再生可能エネルギーの維持拡大
  - ・ 築川発電所の建設、稲庭高原風力・胆沢第二・入畑発電所の再開発の推進
- (3) 経営環境の変化に対応した安定経営
  - ・ 発電所ごとの特性に応じた保守管理の検討

###### 【工業用水道事業】

- (1) 良質な工業用水の安定供給
  - ・ 防災や減災の観点を踏まえた施設の強靱化
- (2) 新たな水需要への対応
  - ・ 新たな水需要に応じた施設・設備の整備
- (3) 安定的な事業運営
  - ・ 効率的な経営のあり方の検討

###### 【組織力向上と地域貢献】

- (1) 組織力向上
  - ・ 計画的な職員採用、有資格者の確保・育成
- (2) 組織力向上
  - ・ 小売電気事業者と連携した電力供給を通じた地域貢献

##### (イ) 第1期中期経営計画の経営目標

第1期中期経営計画の経営目標		R2	R3	R4	R5	
電気事業	供給電力量（百万 kWh）	559	536	594	577	
	発電所建屋等の耐震化率（%）	90	100	100	100	
	電力土木施設の耐震診断進捗率（%）	73	86	95	100	
	新規開発・再開発による供給電力量（千 kWh）	12,699				
	経常収支比率（%）	122	124	127	124	
工業用水道事業	供給停止件数（件/年）	0				
	経常収支比率（%）	100	107	109	69	
組織力向上と地域貢献	新規資格取得者数（人） [計画期間累計]	第2種 電気主任技術者	2	3	4	5
		第1種 ダム水路主任技術者	0	1	1	2
	地域貢献事業による温室効果ガス削減量 （t/年）	120 以上				